

2009年3月期第2四半期決算説明会

2008年10月29日
NECリース株式会社



目次

1. 2009年3月期第2四半期(累計)実績報告

- 業績概要
- 事業別売上高・売上総利益
- 事業別契約実行高
- 機種別賃貸事業契約実行高
- 事業別営業資産残高
- 不良債権の状況
- 資金調達の状況

2. 第3次中期計画の進捗状況

- 経営環境
- 事業ポートフォリオ戦略
- 経営機能強化戦略
- ガバナンス・CSR強化策
- 社名変更

3. 2009年3月期計画

- 業績予想
- 配当予想

1. 2009年3月期第2四半期(累計)実績報告

■ 業績概要(個別)

(単位: 億円)

	2008/3期 第2四半期(累計)	2009/3期 第2四半期(累計)	前年比
売上高	1,309	1,311	0.2%
経常利益	32	30	-7.6%
中間純利益	20	17	-17.2%
1株当たり中間純利益	93円65銭	77円56銭	—
営業資産残高	6,866	7,038	2.5%
純資産	607	627	3.3%
自己資本比率	8.1%	8.1%	—
1株当たり中間配当金	22円00銭	22円00銭	—

(億円未満四捨五入)

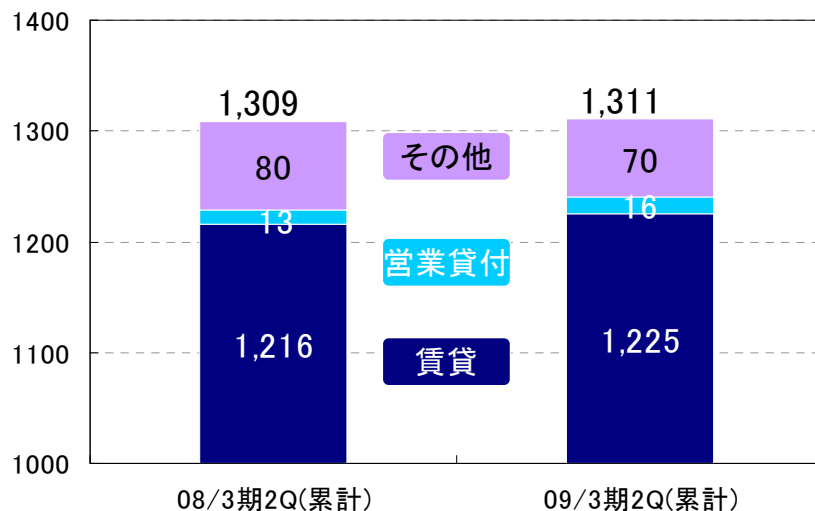
■ 事業別売上高・売上総利益(個別)

(単位: 億円)

	2008/3期第2四半期(累計)				2009/3期第2四半期(累計)					
	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	前年増減	
									売上高	売上総利益
賃貸事業	1,216	1,126	27	63	1,225	1,120	33	72	8	8
営業貸付事業	13	0	3	10	16	0	3	13	4	3
その他事業	80	57	0	22	70	51	1	18	-10	-4
合 計	1,309	1,184	30	95	1,311	1,172	37	102	2	7

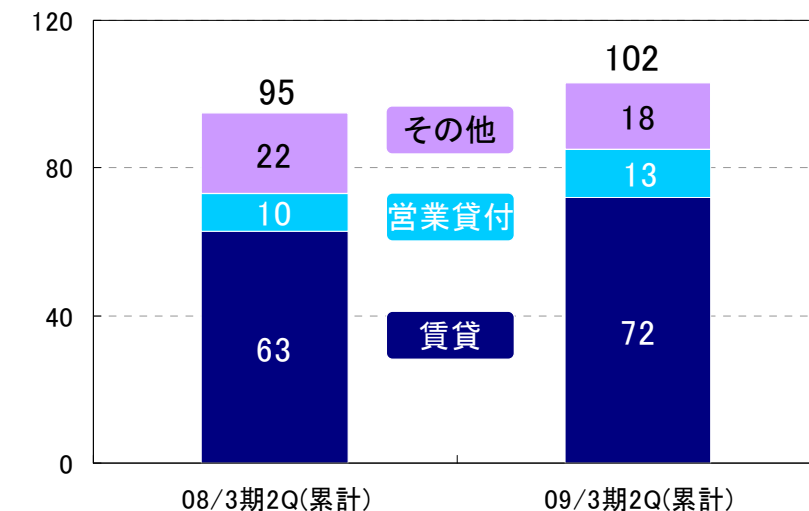
□ 事業別売上高

(億円)



□ 事業別売上総利益

(億円)



(億円未満四捨五入)

■ 事業別契約実行高(個別)

(単位: 億円)

	2008/3期 第2四半期(累計)	2009/3期	
		第2四半期(累計)	前年増減
賃貸事業	984	972	-12
営業貸付事業	1,543	1,597	54
割賦販売	107	69	-38
営業貸付金	1,436	1,528	92
その他事業	14	8	-6
合 計	2,541	2,577	36

(億円未満四捨五入)

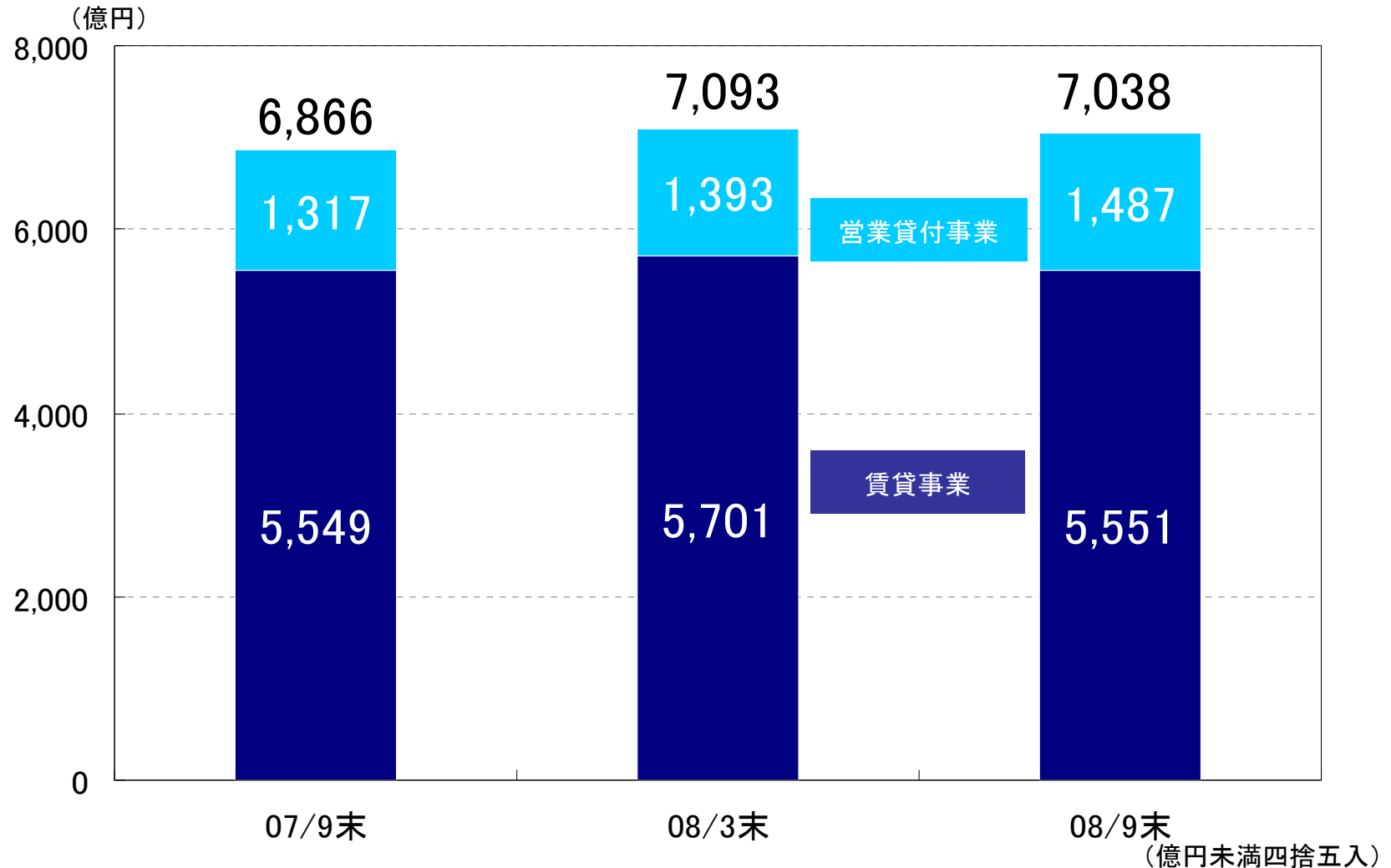
■ 機種別賃貸事業契約実行高(個別)

(単位: 億円)

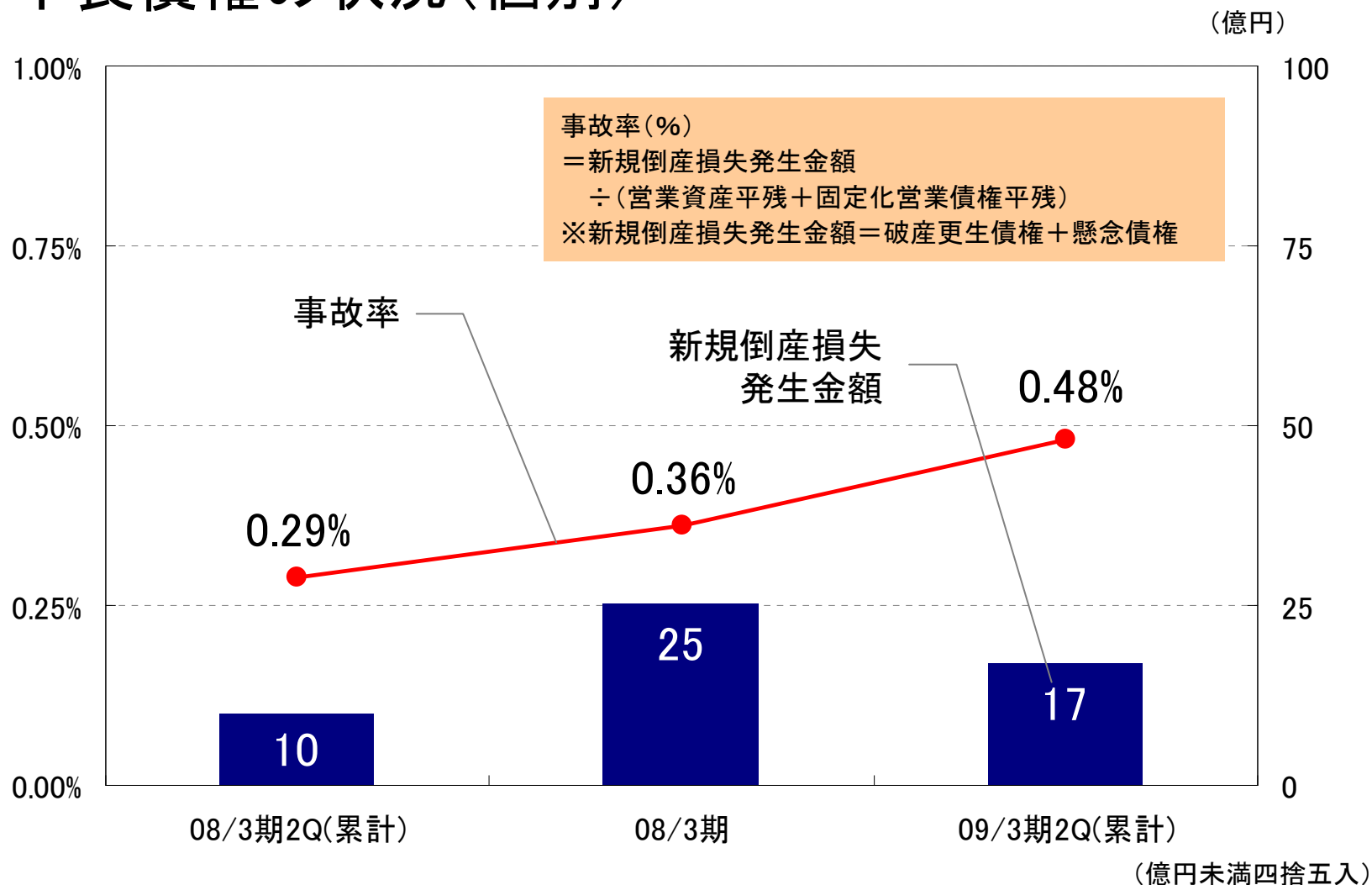
	2008/3期 第2四半期(累計)	2009/3期 第2四半期(累計)	前年増減
情報通信機器	717	759	42
電子計算機及び関連装置	341	320	-21
ソフトウェア	321	355	34
通信機器及び関連装置	55	83	29
事務用機器	100	89	-11
その他機器	167	124	-43
合 計	984	972	-12

(億円未満四捨五入)

■ 事業別営業資産残高(個別)

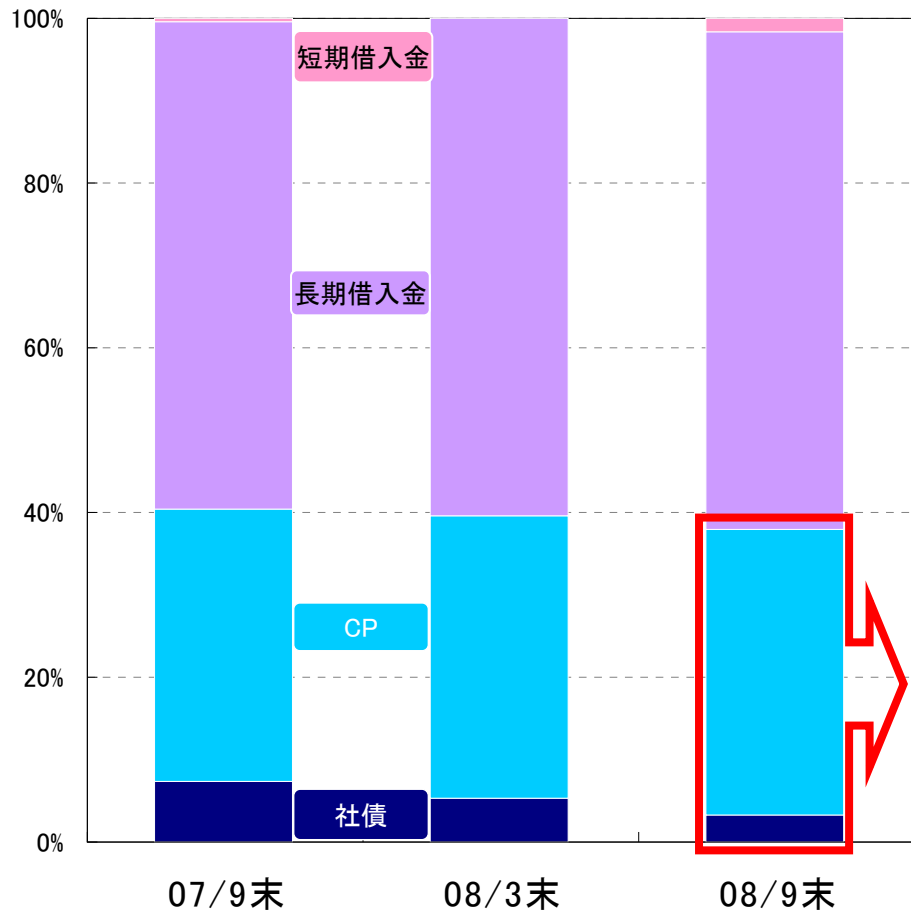


■ 不良債権の状況(個別)

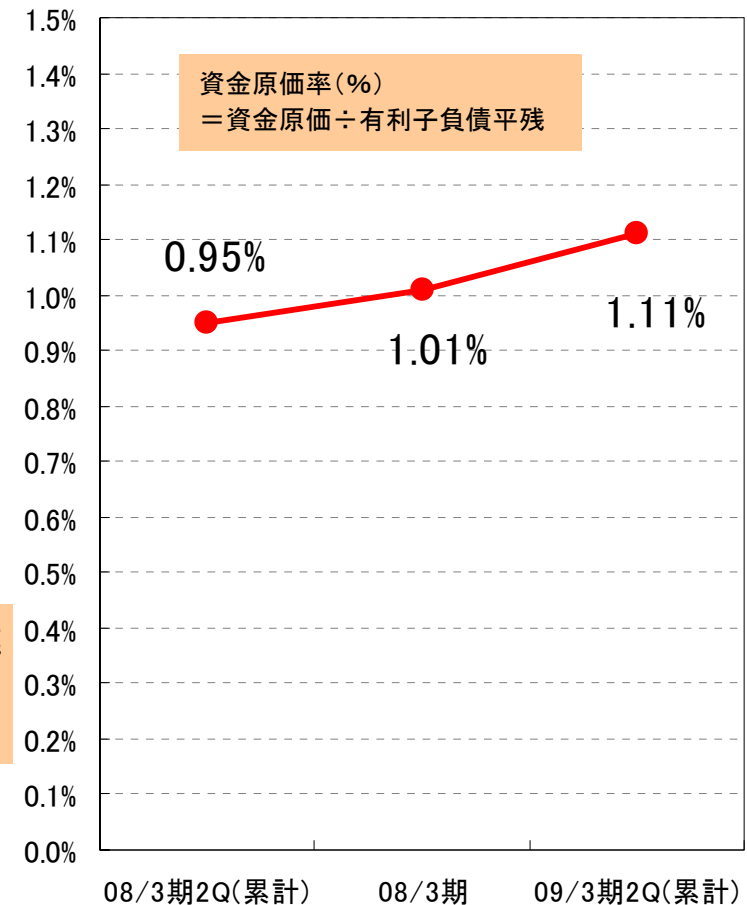


■ 資金調達状況(個別)

□ 有利子負債構成比



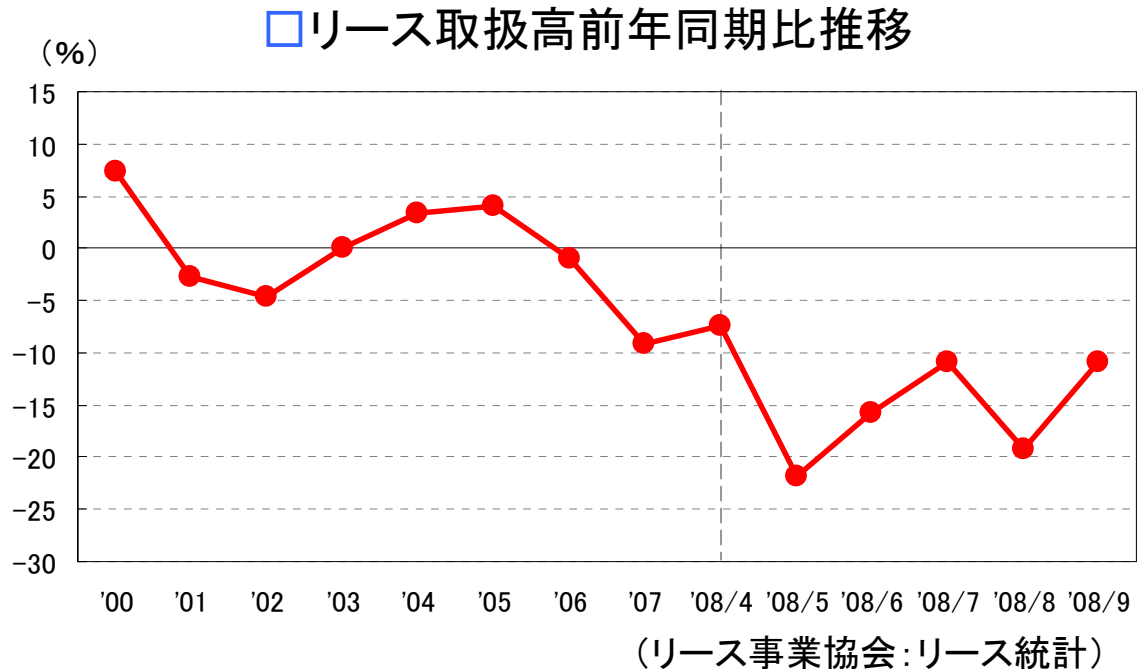
□ 資金原価率



2. 第3次中期計画の進捗状況

■ 経営環境

- リース会計基準・税制度の変更
- 設備投資抑制
- 倒産の増加



第3次中期計画の遂行による事業構造の改革

■ 事業ポートフォリオ戦略①

□ 金融ソリューション領域

- － Asset Finance 事業
 - ABL取組の本格的拡大に向けた取組み
 - NECグループ商流上の企業へのファイナンス取組加速
- － Financial Engineering 事業
 - 事業再生ファンドへの共同投資
 - 幹事会社としてシンジケートスキーム組成
 - バイアウトファイナンスの組成

■ 事業ポートフォリオ戦略②

□ 資産ソリューション領域

- － Asset Remarketing 事業
 - リブートテクノロジーサービス(株)のオペレーション開始準備
- － ICT Solution 事業
 - NECグループシナジーを生かしたビジネス拡大

□ ベンダーソリューション領域

- － Vendor Solution 事業
 - ベンダーリース事業の健闘
 - 小口リース事業の拡大

■ 経営機能強化戦略

- － システムプロジェクトの立ち上げ
 - 次期システム構築フェーズへ
- － SMART(事務効率化)プロジェクトの更なる推進
 - OHRの戦略的改善へ

■ ガバナンス・CSR強化策

- － 日本版SOX法対応
 - J-SOX体制の構築・強化によるモニタリング強化
- － CSR活動の推進
 - 環境啓蒙活動の強化・促進、各種社会貢献活動の推進

■ 社名変更

「NECリース株式会社」

顧客のニーズに合った様々な「キャピタルソリューション＝ファイナンスを含む経営資源に関わる解決策」を提供できる会社への脱皮

社内外の意識改革

2008年11月：創業30周年を期に

NECキャピタルソリューション株式会社

3. 2009年3月期 計画

■ 業績予想(連結)

(単位: 億円)

	2008/3期 (実績)	2009/3期	
		(予想)	前年比
売上高	2,641	2,640	-0.0%
経常利益	59	65	9.9%
当期純利益	39	38	-3.7%
1株当たり当期純利益	183円25銭	176円47銭	

(億円未満四捨五入)

■ 配当予想

□ 1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2009年3月期予想 (2008年4月24日公表)	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2008年3月期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。